

新年のご挨拶



高士区地域協議会
会長 青木 正紘

高士区の皆様 明けましておめでとうございます。
本年も高士区地域協議会をよろしくお祈りします。

〈これまでの役割〉

昨年度、新市長の誕生により地域協議会の役割が大きく変わりました。これまでは、

- ①市長からの諮問事項に対する対応
- ②「地域活動支援事業」の審査・採択

次年度からは②の廃止方針が打ち出され、代わって③「地域独自の予算」が始まります。

〈新しい役割〉

③「地域独自の予算」は、〈地域〉〈地域協議会〉〈市〉が互いに連携して、次の手順で進めていきます。

（手順1）高士地区の住民が、明るく穏やかに、かつ安全安心に日常生活を送るためのありべき姿を協議する。

（手順2）その実現のための必要事項、問題点等を、皆さんと話し合い、必要な経費を積算して、市へ「地域独自の予算」として申請する。

〈皆様へのお願い〉

このように地域協議会は、これまでの限定的な役割を大きく超え、予算編成を伴う市の行政範囲に踏み込むものとなります。まだ具体的な役割分担が判然としない状況ですが、いずれにしても地域全体で取り組むべきものであり、地域住民の皆様の益々のご協力をよろしくお祈りします。

今年は卯年。緑の野原で仲良く草を食むウサギ達を見ると、争いなど全く無い穏やかで温かな世界が想像されます。卯年に因み、この一年が平和な年であることを心から祈ります。



■ 高士のまちづくりを話し合う会を開催しました

11月21日（月）に「高士のまちづくりを話し合う会」と題して、町内会長の皆様や地域の団体や住民の皆さんとの意見交換会を開催しました。

当日は、約20名の方からご参加いただき、地域協議会のこれまでの活動経過を報告するとともに、班に分かれて、2つのテーマに沿って話し合いました。

多くの方からご参加いただき、ありがとうございました。

参加者の皆様から頂いたご意見やアイデアは裏面をご覧ください。



続きは裏面



<会長あいさつの様子>



<活動経過をスライドで説明>



1 トークテーマ「旧高士スポーツ広場の活用について」

- ・各町内や各団体で活用できる見込みはあるか
- ・現状の広場のまま使える方法はないか
- ・使いやすくするためにどんな整備が必要か

(課題)



まずは多くの人に広場を知ってもら
うことが必要

現状のままでは活用は難しい

多くの人が集まる広場にするなら
インフラ整備が必要

土地を市に返す時のことも考慮すべき

(こんな活用をしたい)

- ・子どもや若者が集える広場にしたい
- ・芝生や花を植えたい
- ・スポーツジム感覚で利用したい

(検討方法)

改めて現場を見ながら
話し合っては？



2 トークテーマ「高士区のまちづくりについて」

- ・地域で話題になっていることについて
- ・新たに地域協議会で取り上げるべき課題はあるか
- ・5年後、10年後の高士はどうなっているか



ブドウを生かして
魅力を広めたい

町内会同士で
もっと連携したい

世代を超えて
コミュニケーションしたい



高齢者が元気で住みやすい
地域にしたい

子どもや若者の
流出を防ぐには？

将来に「負の遺産」は
残したくない



頂いたご意見をもとに、今後の
地域協議会で議論していきます。

お問い合わせ先

上越市 中部まちづくりセンター（上越市木田 1-1-3 木田第2庁舎 3階）
TEL：526-1690 / FAX：520-5853 / E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp